

番号	6
事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業費
予算額(主な支出)	251,275 千円(委託料 251,275 千円)
特定財源	新型コロナ定期接種ワクチン確保事業収入 251,275 千円

事業の概要	<p>【補正理由】国が標準的な接種費用の見直し(7,000円→15,300円)を行ったことにより、増額分(8,300円)を追加する。想定接種人数は当初予算同様、接種率 60%(30,274人)を見込む。</p> <p>$8,300円 \times 30,274人 = 251,274,200円 \div 251,275,000円$</p> <p>補正増額分については、ワクチン生産体制等緊急整備基金の基金管理団体より助成される。(助成率10/10)</p> <p>新型コロナウイルスワクチンを定期接種B類疾病として応需個別医療機関に委託し実施する。(定期接種B類疾病:主に個人の重症化予防を目的とする。インフルエンザ予防接種、高齢者肺炎球菌予防接種と同様)</p>
	<p>[対 象]</p> <ul style="list-style-type: none">・65歳以上・60～64歳で慢性高度心臓、腎臓、呼吸器機能不全者等、重症化リスクの高い方(範囲は季節性インフルエンザの定期接種と同じ)
	<p>[接種費用]</p> <ul style="list-style-type: none">・上記対象者は自己負担3,000円(生活保護受給者は無料)
	<p>[接種期間、回数]</p> <ul style="list-style-type: none">・ R6.10.1～R7.2.28 年1回
	<p>[接種場所]</p> <ul style="list-style-type: none">・応需個別医療機関
事業の背景など	<p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none">・接種券送付なし(医療機関に備え付けの予診票を使用)・各自で医療機関に予約して接種(インフルエンザ予防接種同様)・対象者以外は「任意接種」として接種可能(全額自己負担)
	<p>新型コロナウイルスワクチンの特例臨時接種が令和 6 年 3 月 31 日終了となり、令和 6 年度以降は予防接種法第 5 条第 1 項の定期接種 B 類疾病として位置づけられた。当初に国が提示した標準的な接種費用が見直されたことにより、追加計上を行う。</p>
	<p>目的・効果など</p> <p>新型コロナウイルス感染症の重症化予防を図る。</p>
	<p>事業スケジュール</p> <p>R6.10.1～R7.2.28 新型コロナウイルスワクチン定期接種の実施</p>
	<p>添付資料</p> <p>なし</p>
担当課	<p>備考</p> <p>なし</p>
	<p>健康福祉部 健康づくり課 電話 31-1212</p>